中央環状品川線の概要及び工事の特徴

＜別紙2＞

中央環状品川線は、中央環状線（約47km）の南側を形成する約9．4km区間（うち、トンネル構造約8．4km）であり、高速湾岸線と高速3号渋谷線を結ぶ路線です。

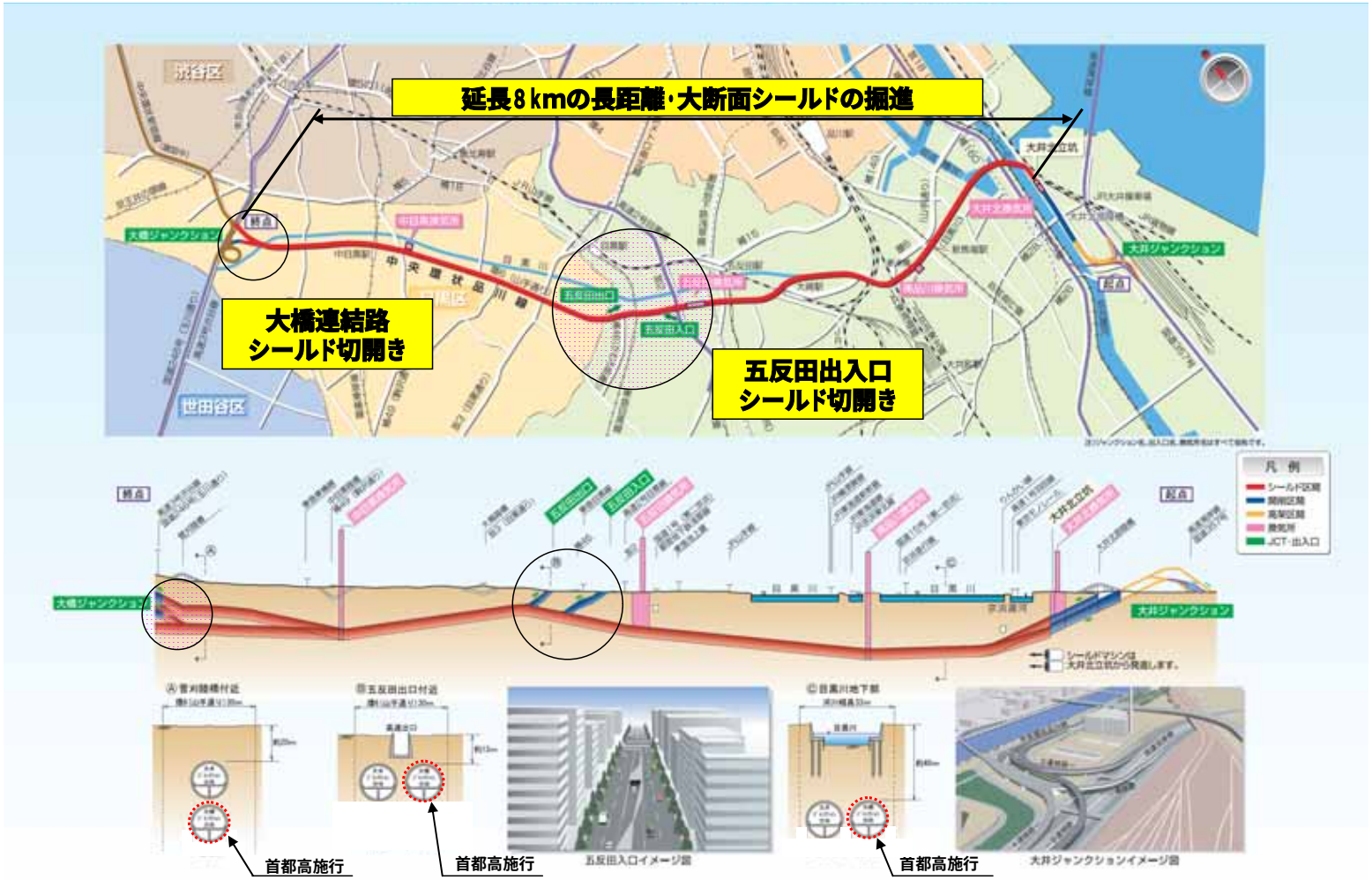
東京都との合併施行により事業を進めており、2013年度には開通予定であり、中央環状線全線が開通します。

本路線が完成することで、都心環状線に集中していた通過交通が分散され首都高速道路全体の流れはよくなるとともに、目的にあわせたさまざまなルート選択が可能になります。

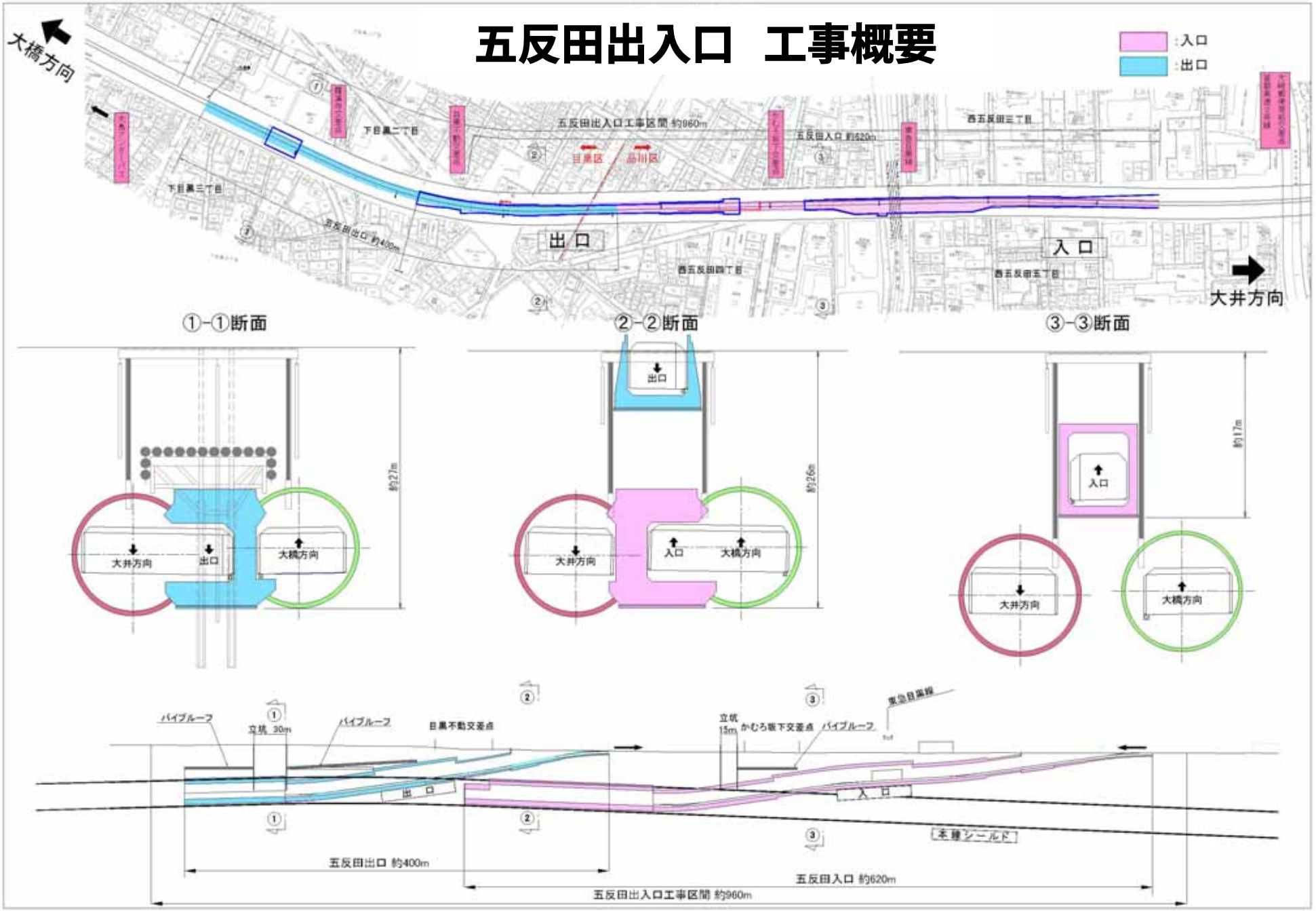
【中央環状線概要図】

中央環状品川線トンネル工事の特徴

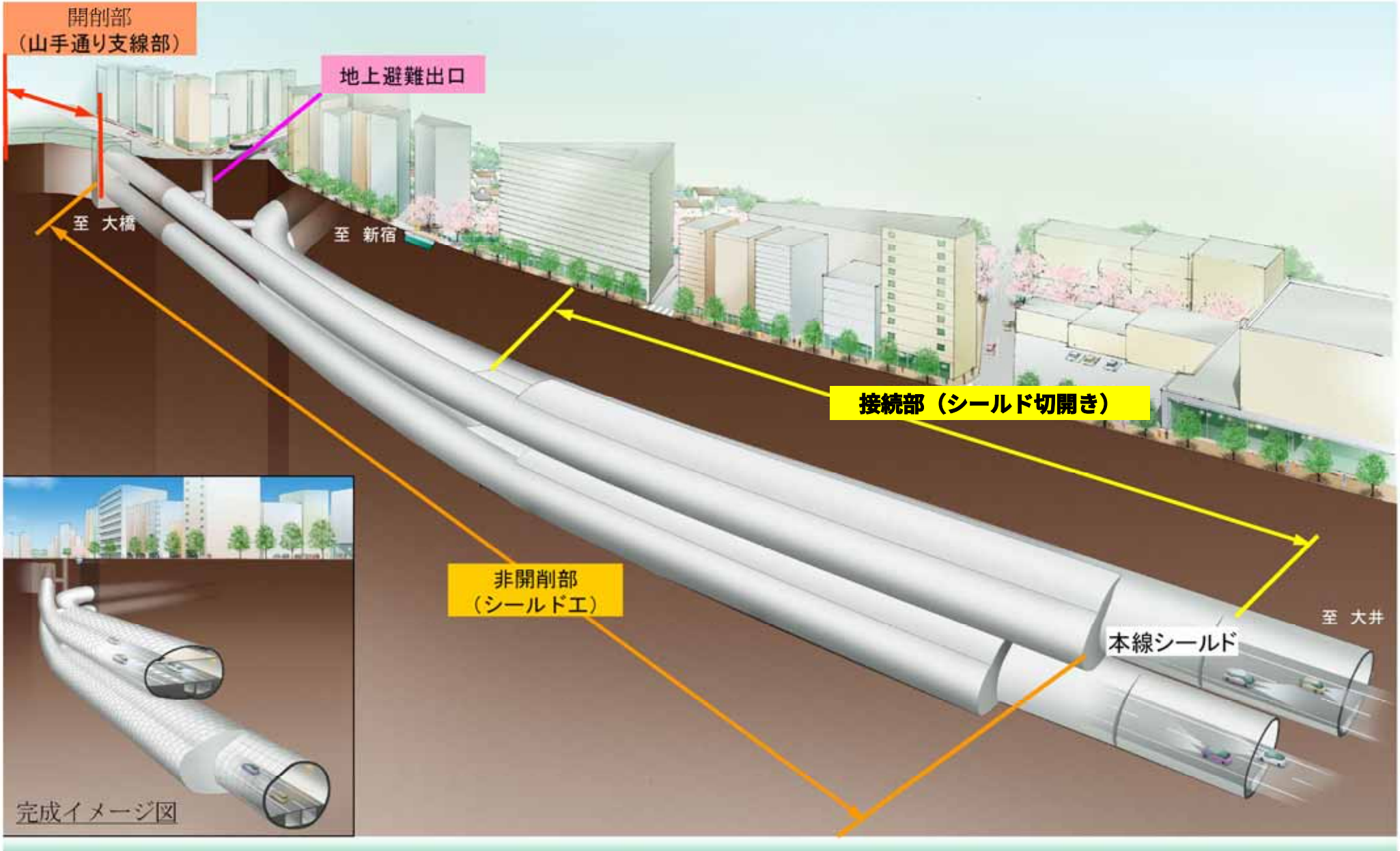
- 延長約8km、シールド直径約12.3mという世界的に最大級の長距離･大断面シールドトンネル施工
- シールドセグメントを切開き出入口･連結路を構築する難易度が高い切開き工事（五反田出入口･大橋連結路部）



五反田出入口　工事概要


大橋方向
:入口
:出口
下目黒二丁目
下目黒三丁目
五反田出入口工事区間 約960m
五反田入口 約620m
五反田出口 約400m
目黒区
品川区
西五反田三丁目
西五反田四丁目
西五反田五丁目
出口
入口
大井方向
①-①断面
②-②断面
③-③断面
約27m
約26m
約17m
大井方向
出口
大橋方向
入口
パイプルーフ
立坑 30m
目黒不動交差点
立坑 15m
かむろ坂下交差点
東急目黒線
本線シールド
五反田出口 約400m
五反田入口 約620m
五反田出入口工事区間 約960m

大橋連結路　工事概要


開削部
（山手通り支線部）
地上避難出口
至　大橋
至　新宿
接続部（シールド切開き）
非開削部
（シールド工）
本線シールド
至　大井
完成イメージ図